

第2章では、学校施設の現状を把握するとともに、学校施設の老朽化の状況について調査を行い評価しました。それを踏まえ、本章では学校施設の目指すべき姿を定め、それを実現するための課題を整理します。

1. 学校施設の目指すべき姿

本市では、「朝霞市教育振興基本計画（平成25年3月）」において、「21世紀を心豊かに生きる力をはぐくむ 朝霞の教育」を基本理念として掲げ、児童生徒の安心・安全の確保、快適な教育環境の整備充実を図ることに加え、学校・家庭・地域が連携し、地域とともにある学校づくりを進めていくこととしています。

基本方針では、3つの目指すべき姿を設定し、学校施設整備を進めていきます。

安全で快適な空間であること

児童生徒の学習及び生活の場として、安心して学校生活が過ごせるよう、学校施設の安全性や防犯性に配慮した施設整備を進めます。また、教職員の働く場として良好な環境を確保するとともに、学校を利用する誰もが使いやすい施設整備を進めます。

豊かで健やかに育つ環境であること

近年の教育内容・教育方法の変化に対応できる柔軟な環境整備に取り組み、質の高い教育を支える教育環境の整備充実を図ります。

地域の拠点として活用されること

地域のコミュニティ、生涯学習の場として活用されるよう、地域に開かれた施設整備や、防災拠点としての機能強化、将来的な施設の複合化や共有化等に配慮します。

2. 学校施設の課題

学校施設の目指すべき姿を実現するための課題を、次のように整理します。

安全で快適な空間であること

〔課題1〕老朽化への対応

校舎や体育館の屋根・屋上や外壁の劣化は、構造躯体そのものの劣化につながり、雨漏りや外壁仕上げ材の剥落等、施設の安全面に大きな影響を及ぼします。

学校施設の長寿命化を見据えた計画的な大規模改修の実施はもとより、施設の安全性を確保するために劣化が著しい部位の改修が早期に必要です。

〔課題2〕環境向上に向けた取組

児童生徒や学校関係者だけではなく、地域住民など学校を利用する誰もが使いやすい施設の整備を進めることが必要です。

▶ バリアフリー化

乗用エレベーターや多目的トイレの整備、通路の段差解消等、施設全体でのバリアフリー化を図ることが必要です。

▶ 内部仕上げのリニューアル

床や壁、天井等の内部仕上げは、全体的な改修が行われておらず、汚れが目立ち暗く劣化が進んでいるため、木質化等により明るく快適な環境の整備を進めることが必要です。

豊かで健やかに育つ環境であること

〔課題3〕多様な学習内容・学習形態への対応

ICT環境の整備充実など情報化への対応、少人数指導やインクルーシブ教育等、多様化する学習形態に柔軟に対応できる学習環境を整えることが必要です。

地域の拠点として活用されること

〔課題4〕地域の拠点としての施設整備

地域コミュニティなど様々な活動の場として、また、災害時の防災拠点として、地域のニーズに対応できる施設整備を図ることが必要です。

